

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等	地域
地域活性化	市町村による広域行政には限界があるため、地方事務所がリーダーシップをとって包括的、戦略的な施策の展開を行って欲しい。	飯伊
	長野県は東西南北、気候風土が大きく違い、一つにまとめ難い地域であると考え、無理にまとめようとせず、地域の実情を吸い上げる施策が必要	大北
	県の役割を考える上で、基礎自治体である市町村と県との関連性を考える必要があるのではないか。	松本
	地域住民が常に交流連携を保ち、共助できる地域づくりが必要	飯伊
	消防団活動等は大事のときには目がいすが、日々の活動の中でなかなか目がいけないというのが現状。そういった住民の活動の重要性をもう少しアピールするような形にしていって欲しい。	上伊那
	地域の活動をどうしていくかが重要になってくる。行政が推進をしていくというよりも「具体的に活動していくんだよ」というところをもう少し前面に出し、住民の方が中心になってやっていく方向がいいのではないか。	上伊那
	誇りが持てるような地域づくり、地元へ深く愛着を持てるような教育をして欲しい。	北信
	人づくり、人が喜んで住める地域社会、子供達が地元故郷に帰りたいという地域づくりを目指した方向性を、何らかの文言でもう少し明確にして出していったらいいのでは。	上伊那
	地域の子ども会のリーダー達が県外で就職してしまう。県内へ戻って来るような魅力ある地域づくりをお願いしたい。	諏訪
	地域の人材育成には、子どもが小さい頃から地域の行事に積極的に参加することが必要。つながりが出来て、地元へ親しみや愛着を持つようになる。	飯伊
	地域活性化を図るため、若い力をもっと利用し、若い人のモチベーションを上げることが必要では。	飯伊
	リニア中央新幹線の開通を見据え、特色ある産業と自然豊かな地域性を活かし、歴史と伝統文化を残す地域づくりが大切	飯伊
	地域のロケーションをどう生かしていくかという、地勢学的な地誌学的な発想を持って捉えても良いのでは。	上伊那
	統合により廃校となる高校の跡地について、どのように活用し地域振興に役立てるかという県のメッセージを5か年計画に盛り込んで欲しい。	飯伊
	山村では、既に少子高齢化や福祉医療はピークであるため、先進的な取組を検証し、地域にあった取組を探していく必要があるのでは。	飯伊
	人口減少、コンパクト社会を迎え、集落や地域さえなかなか維持できないという事態が起きてくる中で、地元の住民自身が頑張ることと、同時に地元がどこと連携をしていくかを工夫していくことが必要	上伊那
	地域づくりの活動では、特に県外への情報発信が難しく、行政の支援が必要である。	上小
	元気づくり支援金を受けている団体同士が連絡を取り合うことで地域の振興に資することが期待できる。交流の場面の設定をお願いしたい。	木曾
	地域で活動する団体同士が手を繋ぎ、組織を広げるような取組について支援して欲しい。	松本
	行政と連携しながら地域で活動している団体に対しては、行政も継続的に支援して欲しい。	松本
行政だけでなく、地域づくりにおいても縦割りとなっているので、様々な分野を繋いでいくことが必要	松本	
地域の資源を生かしていくためのソフト(仕組み)を考えていくことが必要	松本	
計画策定においては、コミュニティづくり、様々な施策を担う担い手の育成という視点が重要	松本	
隣組による遊休農地への共同作付や空き校舎を活用したサロンなど、地域住民みんなで事業を作り出すことが重要	長野	

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等	地域
地域活性化	すぐに補助金に頼るのではなく、できることは自分たちで取り組めるよう、住民のやる気を引き出すことが必要	長野
NPO・ボランティア	地域貢献型のNPO等を支援するなど、自分たちで自分たちを支えていき、幸福を感じられ、支援を受ける人も素晴らしい地域だと思えるような仕組みが必要である。	北信
	公・共・私の共(NPO活動)の領域である市民事業を支援していくという意識を持って連携・協働してもらいたい。	上小
	仕事起こしや野外保育など、頑張っている民間非営利団体を支援できる制度が必要	大北
	行政と市民、あるいは市民同士の協働する部分をもっと作り出し、新しいコミュニティづくりをすることが必要	上小
	芸術・文化のイベントや災害時の食料配分等において、行政ができない部分をマネジメントする市民の育成が必要	飯伊
	観光や住民の働く場として、地域資源が活かされていない。	長野
	NPOが新たな公共の担い手として機能するためには、資金的な支援や組織体制の強化に向けた支援(マネジメントや事務等の支援)など、十分なサポートが必要	長野
	ボランティア活動は人件費がかからないため、公共性の高いものについては、既存の法人よりもNPO等の方が機能しやすい。	長野
地域に根差した人々は、地域資源として重要。子どもや高齢者は地域に根差した存在であり、どのようにケアしていくかが大事	長野	
男女共同参画	男女共同参画の取組には市町村により温度差がある。審議会の女性委員の比率等の数値目標達成のためには男性の応援が不可欠。地域で足並みをそろえて取り組んで欲しい。	諏訪
	女性が地域で頑張るには、家庭の中でその地位が認められることが必要と思っている。	佐久
	男女平等を推進する学習を充実するため、エンパワメントと人権アサーティブ(自分も相手も大切にコミュニケーション)に関する参加型研修を継続的に実施して欲しい。	長野
	男女の役割について、固定的な役割分担意識が残っている。	長野
	環境が整っていない、能力が伴っていない、経験が蓄積されていない等の理由により女性の社会参画は難しい状況であり、職場での男女平等も進んでいない。また、出産・育児後の再就職が難しい。	長野
国際化	災害時の対応の面からも、在日外国人の日本語教育に力を入れて欲しい。	諏訪
	県の5か年計画は、グローバル化という言葉がでてくるだけで、実際は対応できていない。	飯伊
	外国人に対する言語バリアを解消する必要がある。	長野
農山村	森林セラピーは心を和ませる。子どもたちを自然の中で心豊かに育てることが必要	上小
	都会との交流が、地域のすばらしさを再認識する機会となり、仕事に対する自信にも繋がっている。この取組を広げ、地域の魅力に繋げていけるよう行政支援をお願いしたい。	飯伊
	「食」「農」「命」の健全な循環をキーワードにして、伝統を活かしながら、新しい生活スタイル、農業、林業のあり方を模索し、安心して安全な地域、子どもを健やかに育て、老いてなお地域における生活者として自己実現ができる、そんな県であることが望ましいあり方ではないか。また、そのあり様は、他県のモデルとなり、長野県としてのブランド力を持つことにつながる。	大北
	リニア中央新幹線の開通を見据え、農業体験を中心とした観光産業の活性化や「のんびり、ゆったり」を合言葉に都会、又は世界から人が集まる地域を目指してはどうか。	飯伊
	農村を直に知ってもらうため、都会のリタイヤ層や時間がある若者を対象に農作業ボランティア体験ツアーを実施してはどうか。これにより、ツアー参加者が長野の宣伝マンになって長野の良さをPRし、農村で暮らしてもいいという人も期待できる。	北信

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等	地域
農山村	農地付きの空家が増えているので、クラインガルテンのように貸出すなど活用してはどうか。	飯伊
	都会の企業をリタイヤした人に住んでもらい、マネジメントができない企業に対して、大手のノウハウを活かしてもらってはどうか。ただし、受入れには福祉の充実が必須	飯伊
	都会の子育て世代に対して、保育や教育内容の充実も含めた長野県ならではの子育てメリットと福祉や雇用の情報を組み合わせた情報を発信し、定住促進の流れをつくることを県政の中に位置づけて欲しい。	大北
	若者が定着し、就労できる地域づくりが必要。自然環境に恵まれた地域を大いに宣伝し、住んでもらうことが必要。生計を立てるために伝統文化を活かすことを考えてはどうか。	飯伊
	地域の良さを知ればもっと学生が地域に残っていくと思う。	上小
	集落の世帯数の減少、高齢化が進んでいる。若者の定着、外からの移住等により集落を維持する努力が必要である。	北信
	急激に人口が減少すると、町村のコミュニティが成り立たなくなる恐れがある。様々な方策をとり、人口の減少を食い止める工夫をして頂きたい。	木曽
	過疎地の人口増加のため、Iターン、移住の促進が大切。そのため、雇用や住居の確保等大胆な支援をお願いしたい。	飯伊
	住居の安定ということ考えると、多様な住まい方の受け入れが豊かさや楽しさにつながるといふ面から二地域居住を提案する。二地域居住には仕事と住まいが整っていることが必要であり、空き家や不要となった公共施設の利用とビジネス支援を実施すべきである。多様な世代の混在が元気の地域を作っていく。	北信
	被災地から集落単位で移住者を受け入れてはどうか。	飯伊
5か年計画は、長野県にもっと都会人を引き付けることを意識してつくるべき	松本	
都市環境・住環境	車前提の社会ではなく、歩いて暮らせる社会、まちづくりを進めて欲しい。	飯伊
高速交通ネットワーク	リニアの駅を核とした交通体系の整備が必要	飯伊
	リニア新幹線の開通前と開通後のビジョンや経済効果を分けて検討すべき。	飯伊
	中部横断自動車道の早期全面開通が必要である。	佐久
	上高地へのアクセス強化のため、中部縦貫自動車道の整備促進に取り組むべき。	松本
	上高地へのアクセス道路の改良・整備に取り組むべき。(中部縦貫自動車道の整備、国道158号の改良を)	松本
	中部縦貫自動車道の整備、国道158号、国道19号の拡幅改良の早期着工をお願いしたい。	松本
	JR中央東線の充実、中部縦貫自動車道、国道158号の整備促進、松本糸魚川連絡道路等の整備を促進して欲しい。	松本
	松本空港の存続の検討に当たっては、代替措置として、バス・鉄道等公共交通の充実をお願いしたい。	諏訪
	松本空港の有効利用(PR活動)に取り組むべき。	松本
	松本空港を活用した商業及び観光振興に取り組むべき。(県外からの誘客を図り、宿泊型観光でまちの活性化を)	松本
	松本空港から松本市街地までの移動手手段の確保に取り組むべき。	松本
新幹線・松本空港・高速道路等の延伸や拡張を通じ、長野県への窓口としての位置づけと、それぞれに対応したアピールが必要	長野	

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等	地域
高速交通ネットワーク	松本空港の拡充(国内線の充実や国際線チャーター便の誘致等)が必要	長野
道路ネットワーク	道路の整備ができれば、工業分野もちろん、観光の振興にも有益である。道路の整備に力を入れて頂きたい。	木曾
	生活道路において渋滞をなくすための道路整備、三才山トンネルの無料化や松本方面への高規格道路の整備を行って欲しい。	佐久
	医療機関に30分で行けるように生活道路を整備して欲しい。	飯伊
	川上村から佐久市方面への道路整備をお願いしたい。	佐久
	国道158号の改良に早期に着工し、完成させるべく取り組むべき。	松本
	県道上高地公園線、釜トンネル上の道路改良(トンネル化)に早期に着工し完成させるべく取り組むべき。	松本
	慢性的な交通渋滞を対象するため、新たなバイパス道路(国道143号または国道254号、国道152号)の整備、国道19号の拡幅等に取り組むべき。	松本
	国道158号の整備に積極的に取り組んで欲しい。	松本
道路や河川的环境整備については、行政が責任を持って行うべき。行政が進められないのであれば、地域の団体、企業等が協働して行えるよう、調整を行うべき。	松本	
公共交通ネットワーク	廃線になった信越線の軽井沢・横川間を復活させて欲しい。	佐久
	地域の活力を維持する上で、各地で走っている100円バスは有効だと思う。これからも行政で支援していただき、廃止されることのないようにして頂きたい。	木曾
	松本市が取り組んでいる新たな公共交通について、県で一体的な事業を行うのであれば、共同で取り組んで欲しい。	松本
	公共交通網・二次交通等の整備が必要	長野
	並行在来線の利用促進のため、住民・行政・関係団体及び事業者等が一体となった取り組みが必要	長野
	公共交通の利用者が減少し続けているため、JR・私鉄・バス会社等を不自由なく乗り継ぎできる乗車券等が求められている。	長野
	公共交通網が一覧できるガイドやホームページがあると良い。	長野